

ChaCha Children & Co.



【元気にしてあげよう】



【太陽に向かって伸びてるんだ】



【ひまわりとの背くらべ】



ひまわりせいくらべ ハーモニーグループ



平和の象徴であるひまわりを種から育てました。ぐんぐんとひまわりは成長し、子どもたちは毎日、せいくらべを楽しむようになりました。家でもひまわりとせいくらべをしながら、大きくなる喜びを感じたいという思いから、ひまわりを描いた身長計を作りました。

大きくなってもずっと使えるよう、目盛には数字が付いていません。サステイナブルな商品です。一つ一つ丁寧に手描きした個性あふれるひまわりをお楽しみください。



乳牛の権利

ダーラナ地方で見ることのできる広大な牧草地。

牛が小屋で過ごす期間は、冬のみ。

春になると、町中の人々がここに集まり、牛の放牧を喜ぶ。

広々とした空間で育てることには、動物の愛護の視点だけでなく、牛自身にストレスがかからず、抗生物質も、ワクチンもない。

「牛がスキップしたところを見たことあるか？」

タクシー運転手の言葉だ。

人が手を加えなくとも、エコロジーで、

自然なよりよい牛乳ができる。

持続可能な社会を生み出すことについて記した ChaCha式ドキュメンテーション

子ども、自然、動物など、生あるものすべてに生きる権利が与えているのです。だから「子どもの権利」だけでなく、「牛にも権利」があります。

つまり、一人ひとり、一つひとつを尊重していく価値ある存在としているという考え方に、戦争を200年以上しない国としての姿勢を強く感じます。

【とどろきに牛が住むとしたら？】





「当たり前」を育む

子どもや大人、肌の色がそれぞれ異なっていたり、車いすに乗っていたり、目が見えなかったり、様々な人のフィギュアがありました。

子どもたちは毎日、このフィギュアを自分たちが考えたストーリーの中の登場人物として使用し、遊びを楽しみます。

”社会にはいろいろな人がいる”

子どもたちは遊びを通じて、それに気付いていきます。

その経験があるから、実際の生活に目を向けた時に自分と異なる様々な容姿の人がいても、それが「当たり前」になるのです。

そして、この人形は、1歳児から5歳児のすべてのクラスに用意されていて、子どもたちが乳児の時から、多様性を尊重する気持ちを育むことに大きく貢献しています。

様々な個性をもった人形について記した ChaCha式ドキュメンテーション

日本では、「同じ」であることに重点が置かれ、その枠組みからはみ出ていると指をさされる、そんな風潮があります。しかしスウェーデンでは、この人形を通して、乳幼児期から自分とはちがう人がいることを知り、認め受け入れる環境が整備されています。困っている人がいればどのように助けていけばよいのか社会全体で考えていく、そんな成熟した社会を目の当たりにしました。

【多様な人々と暮らすために】



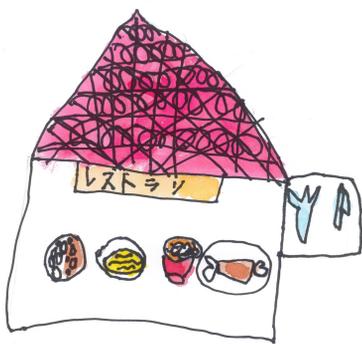
ろーずひっふのぼうけん



さく・え 2023ねんどろーずひっふ



Hej



まちのひとは、「だれでも、どこでもとんねる」をつかって、
たのしく、べんりに くらすことが できるようになりました。

ろーずひっぷが さがしていた たからものは、
かぞく、ともだち、しんせき、ごきんじょのひと、じぶんたち、
そして、せかいじゅうのひとが へいわに わらってらせる よのなかでした。

「これからも、たのしく、べんりに、わらってくらすことができるよう、
いろいろなものを かんがえたり つくったりして、
へいわなよのなかに していこうね。」

ろーずひっぷたちは じぶんたちのみらいについてはなしあい、わくわくしたきもちに
なっていました。